

請願第2号

件名 中学校の全員給食と小学校給食費の無償化を求める請願

請願者 ■ ■ ■ ■ ■
■ ■ ■ ■ ■
■ ■ ■ ■ ■ 他2,429名

紹介議員 羽曳野市議会議員
若林信一 広瀬公代

【請願趣旨】

親の失業や低収入、病気、離婚、死別など家庭の経済状況の悪化などで、約6人に1人の子どもが貧困状態にあり、ひとり親世帯では5割を超えているなど、子どもの貧困と少子化が日本社会の大きな課題になっています。中でも大阪の子どもの貧困率は年々高まり、2015年は沖縄に次いでワースト2位になっています。羽曳野市も例外ではありません。子どもの貧困が問題となっている今こそ、食育の実践として位置づけられている学校給食の果たす役割は重要です。中学校の学校給食についても小学校と同じように学校給食法の食育の実践として位置づけ、全員給食にするべきです。

日本国憲法第26条は、「義務教育は、これを無償とする」とうたっています。しかし、給食費や修学旅行費、補助教材費などは保護者負担のままです。その中で、「どの子にも安心して教育をうけさせたい」と「義務教育無償化」の流れを切りひらくために学校給食費を無償化する市町村が全国で相次いでいます。

羽曳野市においても子どもの貧困対策・少子化対策として、中学校の全員給食と小学校給食費の無償化を求めます。

【請願項目】

1. 中学校の全員給食を実施してください。
2. 小学校給食費を無償化してください

平成29年5月26日

羽曳野市議会
議長 松村尚子 殿